学校番号	2101

令和８年度　学校設定教科

教科	自己実現のための日本語	科目	（学）日本語リテラシー	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	使用しない						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本語指導が必要な人のための授業です。日本語の読むこと、書くことを中心に勉強します。クラスの日本語のレベルに合わせた内容にします。
・予習、復習の宿題があります。宿題で勉強したことをもとに、授業内で考えたり、話し合ったりします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日本語初級～初中級レベルの基本文型や語彙を理解することができ、100 字程度の文章であれば助けを借りずに読み活字からの情報収集力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
言語を問わず、様々な読み物に触れ、そこから得た情報に対する自分の考えや意見をまとめることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
基本的な日本語のリテラシー力をつけ、日本で生き抜くための情報収集力や発信力をつけようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・初級レベルの語彙や表現、文型をおおむね理解している。 ・自分の日本語能力に合った文章を、文や意味のまとまりで区切って、安定した速さで読むことができる。 ・課題や目的に応じて、文章の中から必要な情報を収集できる。	・自分の考えや思い、経験を効果的に伝えるために、構成や書き出し、書き終わりなどを工夫することができる。 ・段落の順序や段落間のつながりを意識して、作文が書ける。 ・書いた後に、不要なものについて削除したり、必要なものを追加したりして、文章の一貫性を高めることができる。	・自分の能力に合ったレベルの日本語の文章を読み、必要な情報を収集しようとしている。 ・自分の考えや思い、経験を効果的に伝えるために工夫して、作文を書こうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	はじめまして	・辞書形、て形、ない形、た形、意向形の動詞変換 ・自分の国について紹介文を作成する	a:基本的な動詞の変換ができる b:自分のルーツのある国についての紹介文が書ける c:自分のルーツのある国についての紹介文を書こうとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文
	いやなこと・歴史紹介	・受身、使役、使役受け身を理解する ・最近あったいやなことについて意見交換する ・国の歴史エピソードについて紹介する	a:受身・使役・受身使役の使い分けができる b:自分が体験したこと、調べたことについて意見をまとめることができる c:自分が体験したこと、調べたことについて意見をまとめようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文
後半	敬語を使おう	・敬語について理解する ・サービス業について理解し、そこで使われる日本語について考える ・電話やインタビューで使う敬語を学び、それを使ってインタビューをする ・インタビュー内容をまとめる	a:敬語についての知識を身につけ、状況や場面によって言葉を使い分けることができる b:ていねいな言葉づかいでインタビューを行い、集めた情報をまとめることができる c:ていねいな言葉づかいでインタビューを行い、集めた情報をまとめようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文
	学校のルールを作り直す	・校則について知る ・世界の校則を比較する ・校則に関する新聞記事を読む ・どうすれば校則などのルールが変えられるのかについて考え、意見をまとめる	a:1500字程度の文章を読み、内容を理解することができる b:自分の考えや気持ちを伝えるために 400 字程度の作文にまとめることができる c:自分の考えや気持ちを伝えるために 400 字程度の作文にまとめようとしている	・小テスト ・単元テスト ・発問	・発問 ・記述の点検	・観察 ・感想文

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度